

# 埼玉県工業高校生ものづくりコンテストにおける審査員・競技用資材・賞品等の全面支援等、教育機関との関連事業

埼玉県電気工事工業組合  
理事長 沼尻 芳治

★実施団体

埼玉県電気工事工業組合青年部会

事業内容区分：組織活性化事業

## 事業内容

埼玉県電気工事工業組合では若年者の人材の確保及び育成の重要性を認識し、昭和44年に技術委員会（現在の指導教育委員会）を創設、青年部会役員等が委員として活動し、平成7年4月から教育機関（高等技術専門学校）への講師派遣を開始し、平成9年11月に埼玉県知事から講師派遣等県政に協力により感謝状を授与された。また、平成11年にはものづくり大学設立に1千万円の寄付を実施するなど教育機関と密接に関わってきた。

この関係から平成16年11月の埼玉県内工業高校生のテクノコンテスト（現在のものづくりコンテスト）の後援依頼があり、コンテストの競技用電設資材や賞品等を提供すると共に、審査員の派遣を行うこととした。

審査では電気工事士としての技術者の目で公平な視点で厳正な審査を行っている。現役青年部会員、青年部会員OBが審査員となっていることにより電気工事士としての技術力に加え、より現場に近い視点からの審査を行い、先生方からも好評を頂いている。

平成20年6月からは組合の会館を会場として提供すると共に、平成22年9月には関東甲信越地区のコンテスト大会の審査員や電設資材等も支援している。

更に教育機関の支援として県指定事業の「スペシャリストに学ぶ事業」での講師派遣、

2004年11月スタート  
2014年6月頃より改善・改革を着手

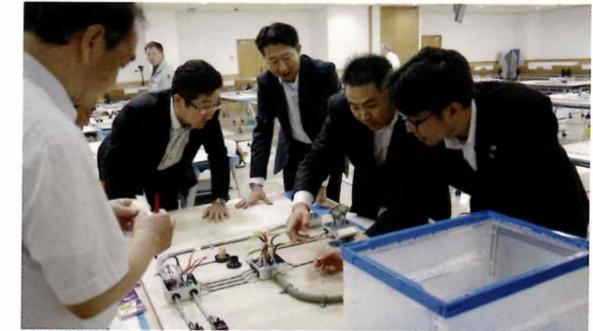
## ものづくりコンテストの年度別開催状況

年度	名称	コース	会場	内容	開催日	参加校数	参加者数		
16	テクノコンテスト	初級コース 専門コース	埼玉スーパーアリーナ	県大会	H16.11.6	7	27		
17	H17.11.12				7	19			
18	H18.11.12				7	19			
19	H19.11.10				4	15			
20	ものづくりコンテスト	専門コースのみ	埼玉工業会館	県大会	H20.6.21	7	15		
21					H21.6.20	9	16		
					H22.6.19	9	23		
22					関東大会	H22.9.19	15	15	
23					埼玉電気会館	県大会	H23.6.18	8	25
24							H24.6.23	8	24
25			H25.6.15	9			25		
26			H26.6.21	8			21		
27			H27.6.20	8	23				
28			H28.6.25	10	26				
29	H29.6.17	8	16						



大会関係者一同（平成29年度）

さいたま市「高度技術体験研修・太陽光発電設置講習」の支援、「熟練技能者制度」への登録などにより組合員等からの生徒へ直接、技術の指導を実施しており、教育機関からはプロからの指導であることや普段の授業では学べない内容であることなどから大変好評を頂いている。また、さいたま市長が講習の視察に訪れるなど、県内の官公庁からの評価も高い。



電気工事士として技術者の目で厳正な審査



関東甲信越地区電気教育研究会  
理事長からの感謝状

埼玉県立高等技術専門学校  
電気工事関連科目 求職者情報

川越高等技術専門学校 電気工専科  
TEL 049(235)7070 FAX 049(235)7071  
〒350-0023 川越市並木572-1  
http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0806/

熊谷高等技術専門学校 秩父分校 電気設備管理科  
TEL 0494(22)1948 FAX 0494(21)1035  
〒369-0035 秩父市上町3-21-7  
http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0808/

春日部高等技術専門学校 電気設備管理科  
TEL 048(737)3511 FAX 048(737)3512  
〒344-0036 春日部市下大塚新田61-1  
http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0809/

全組合員に配布している「求職者情報」  
組合員企業に新卒者が毎年100名前後入社し、  
優秀な人材を確保

## 成果・効果

ものづくりコンテストの支援等、工業高校、高等技術専門学校等の教育機関と長期間、密接に関わってきたことにより、組合の知名度が高まり卒業生、修了者の組合員企業への就職の一助となっている。また、工業高校の就職担当の先生との意見交換会や工業高校の副校長会での説明会を開催することにより、組合員企業への就職者数を増加させた。さらに人材情報の提供として毎年実施している県立高等技術専門学校の電気工専科の卒業予定者の「求職者情報」の全組合員への配布も相まって、組合員企業への高校又は専門学校の新卒者が毎年100名前後入社し、優秀な人材が確保できている。（平成24年：69名、平成25年：83名、平成26年：114名、平成27年：98名）

平成18年5月に埼玉県、埼玉労働局から「中小企業人材確保推進事業対象組合」に認定され、各工業高校等を組合として訪問した際には支援等を行っている関係からスムーズに受け入れられ組合員企業への人材確保の一助となっている。

平成26年に全日電工連から全国に展開された電気工事業界理解促進研修会の開催時には、全国一の92名が参加した。

本事業に関わるものづくりコンテスト等の教育機関との関連事業の記事は埼玉新聞、埼玉建設新聞、電材流通新聞等に掲載され、県内の官公庁等に組合の取り組みが周知され、その評価は高い。また、平成23年1月に関東甲信越地区電気教育研究会理事長からものづくりコンテスト支援に係る感謝状が贈呈されるなど、組合、組合員の社会的地位向上に大きく寄与している。